

県建築協会青年部会総会

独自のカラーで挑戦

県建築協会青年部会 学会や技術・経営者講習(吉満祐市部会長)は28日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で18年度定時総会を開き、現場見



活動の積極参加を呼び掛けた総会。鹿児島市のホテルレクストン

総会では冒頭、吉満部会長が「早いもので青年部会も11年目を迎えた。一つの節目として、これまでの活動内容をまとめた存在を広く示すための10周年セレモニーも実施していきたい。部会は、45歳で卒会となるが限られた時間の中で何ができるかを考え率

県鹿児島耕地事務所長に就任した南



「南薩地区が他の目標となるよう、農業産出額をさらに伸ばし、環境にもやさしい生産性の高い農地への改良を推進していきたい」と抱負を語る。

新五さん

盤の整備も行っている。なればならない。また、「土壌の改良などで環境への負荷を

より少なくすることも大切で、生産性とのバランスを図ることがボ

・水・環境保全対策事業を実践的に行う。同事業は土地改良施設の維持や管理を行う取り組みだが、根本的には『結い』という団結の精神が基本になっている。施設の長寿化や耐用年数が長く、コスト削減にもつながる。維持費用などコスト

薩摩川内市出身で昭和46年、九州大学農学部を卒業後、入

・(古) 薩摩川内市出身で昭和46年、九州大学農学部を卒業後、入

県環境保全出水支部総会

新支部長に土屋氏



土屋 工吉新支部長

は新支部長に土屋工吉氏(南たかき水道)から新役員を選出した。太田支部長(太田電機工業所)は「昨年度は内外ともに企業の倫理が問われる事件が多発しました。私も業界は公共・民間工事とも厳しい状況に置かれています。支部会員一同、技術研部の健全運営と適正な販売・施工・保守点検を推進するなどを柱に事業計画を決めた。役員改選で

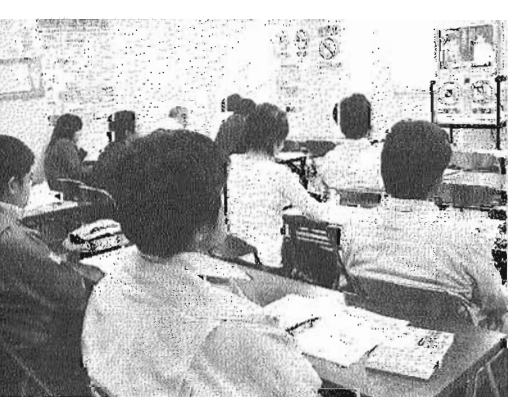


新年度事業計画と新役員を決めた総会。出水市の鶴丸会館で

に努力している。こうではありませんか」と挨拶。総会では草道成男氏(南北薩設備)を議長に原案通り承認した。事業報告は井手口勝理事(井手口電設)監査報告は河末一男監事(南あかつき電化)。

建設産業テレビジョンセミナー

総合評価方式等学ぶ



方式」に関するセミナーが28日、鹿児島市の日建学院鹿児島校で開かれた。通信衛星を利用して行われたセミナーには、業界の経営者や技術者など約30人が参加。公共工事の現状を踏まえ、品確法や総合評価方式の概要、今後の対策等について学んだ。昨年4月の施行から1年が経過した品確法。セミナーでは、法制

通信衛星を利用して行われたセミナーには、業界の経営者や技術者など約30人が参加。公共工事の現状を踏まえ、品確法や総合評価方式の概要、今後の対策等について学んだ。昨年4月の施行から1年が経過した品確法。セミナーでは、法制

設備) 松田あさえ(南長島衛生クリーンセンター)▽監事 河末一男(南あかつき電化) 寺地正末(南てらち) 総会後、出水市下水道

課から1市2町合併に伴う新市の補助金変更等について説明があり、終了後、井手口理事の司会で懇親会が開かれた。

鹿大と日本地下技術 共同

超長期耐久性を確認

鹿児島大学工学部海洋土木工学科・武若耕司教授の研究室と(株)日本地下技術(桑原宏志社長)は、斜面の安定化工法である「LL補強土工法」を写真の超長期耐久性に



性化防止処理を実施し、面構造物の超長期耐久性は未知の分野であり、日本地下技術が武若教授に依頼して、今回の共同研究が実現した。実験では、特に

地上部の吹き付けコンクリート部の耐久性に着目し、酸性雨が降る厳しい環境等をつくり、試験を行う。2年をかけて超長期耐久性を検証する予定だ。桑原社長は、「武若教授との共同研究がなっている。地域

安心システムで21世紀の豊を追求する
(株)南栄技研
鹿児島市中丸山町1406-1 (099) 250-5200
鹿児島市東丸山町118-10 (099) 43-2972
鹿児島市川内市高城町1688 (099) 27-1996
鹿児島市東原町3172-6 (099) 40-9360
鹿児島市高岡町花見橋山1720-18 (099) 30-9680
鹿児島市都北町7411 (099) 38-6120
鹿児島市都立町加草616-1 (099) 63-5458
鹿児島市都立町加草616-1 (099) 63-5458
鹿児島市都立町加草616-1 (099) 63-5458
鹿児島市都立町加草616-1 (099) 63-5458

購読料のお支払いは
お手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

70人が受講するなど関心の高さをうかがわせた。